

「子宮頸がん大学連携セミナー」開催報告

子宮頸がんは、近年、20代～30代の若い女性に増えていますが、この世代の方が、子宮頸がんに関する正しい知識を持つ機会が少ないのが現状です。

そこで、愛知県では、大学生の皆さんに正しい知識を持っていただくため、平成26年度から大学と連携し、セミナーを開催する取組を行っています。

令和6年度は2回（7月と11月）開催し、1回目を次のとおり開催しました。

日時 令和6年7月10日（水）午後2時～午後3時30分

方法 対面・オンライン開催

セミナー終了後オンデマンド配信（9月1日～10月31日）

主催 愛知県・愛知県公立大学法人（愛知県立大学・愛知芸術大学）

参加者 上記大学の学生・教職員等 147名



講演① がんは予防できると思いますか？

<講師>

愛知県がんセンター研究所
がん情報・対策研究分野長 伊藤 秀美 先生

<内容>

伊藤先生には、がんができる仕組みと原因、がんを予防するための生活習慣、早期発見と早期治療の大切さについてお話いただきました。また、若い女性に増えている子宮頸がんの症状や原因についてもご説明いただき、子宮頸がん検診についての啓発を行っていただきました。



講演② 大学生でがんになった私が今伝えたいこと

<講師> 山下 芙美子 さん

大学2年生でがんに罹患され、現在は社会保険労務士としてご活躍されています。

<内容>

がんの体験者である山下さんから、大学生活とがん治療の両立や就職活動の際のご経験についてお話をいただきました。そして、ご自身の体験を踏まえ、人と人とのつながりが大きな支えになること、がんを抱えて生きることは特別なことではないと、大学生の皆さんにメッセージをいただきました。



参加者アンケート回答者（131名）の37%が「子宮頸がんの主な発生原因がHPV感染であること」を知らず、また、53%の方が「子宮頸がん検診が20歳から推奨されていること」を知らない、という結果でした。

愛知県では、今後もこのようなセミナーを実施し、若い世代の方に、がんとがん検診についての正しい知識を持っていただく機会を増やしていきたいと思えます。

<参加者アンケート（自由記述欄）より>

- * 子宮頸がんは、女性が罹患する病気なので、男性は関係ない話なのではないかと思いましたが、子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローウイルスは性交渉により、罹患する危険性が高まるので、男性側も知っている必要があるということが新たな発見になりました。”
- * 体験者の方のお話を聞いて、がんは普通に生活している人でもなることを知り、なかなか周りからの理解を受けられないことが難しいと思いました。誰でもなる可能性はあるのに、いざなると治療や病歴があることを理由に社会から弾き出されてしまうことについては、今がんにかかっていない人も、がんについての正しい知識を持つことで、こういった状況を変えられるのではないかと思います。

「子宮頸がん大学連携セミナー」開催報告

子宮頸がんは、近年、20代～30代の若い女性に増えていますが、この世代の方が、子宮頸がんに関する正しい知識を持つ機会が少ないのが現状です。

そこで、愛知県では、大学生の皆さんに正しい知識を持っていただくため、平成26年度から大学と連携し、セミナーを開催する取組を行っています。

令和6年度は2回（7月と11月）開催し、2回目を次のとおり開催しました。

日時 令和6年11月13日（水）午後1時30分～午後3時

方法 対面開催

主催 愛知県・愛知教育大学

参加者 上記大学の学生・教職員等 19名



講演① がんは予防できると思いますか？

<講師>

愛知県がんセンター研究所
がん情報・対策研究分野長 伊藤 秀美 先生

<内容>

伊藤先生には、がんができる仕組みと原因、がんを予防するための生活習慣、早期発見と早期治療の大切さについてお話いただきました。また、若い女性に増えている子宮頸がんの症状や原因についてもご説明いただき、子宮頸がん検診についての啓発を行っていただきました。



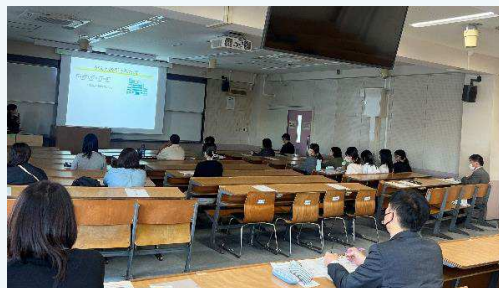
講演② 大学生でがんになった私が今伝えたいこと

<講師> 山下 芙美子 さん

大学2年生でがん罹患され、現在は社会保険労務士としてご活躍されています。

<内容>

がんの体験者である山下さんから、大学生活とがん治療の両立や就職活動の際のご経験についてお話をいただきました。そして、ご自身の体験を踏まえ、人と人のつながりが大きな支えになること、がんを抱えて生きることが特別なことではないと、大学生の皆さんにメッセージをいただきました。



参加者アンケート回答者（17名）の35%が「子宮頸がんの主な発生原因がHPV感染であること」を知らず、また、47%の方が「子宮頸がん検診が20歳から推奨されていること」を知らない、という結果でした。

愛知県では、今後もこのようなセミナーを実施し、若い世代の方に、がんとがん検診についての正しい知識を持っていただく機会を増やしていきたいと思っております。

<参加者アンケート（自由記述欄）より>

- * がんの中でも、特に子宮頸がんは女性なら誰でもなる可能性のあるがんなので、がんについて調べたり、検診に行くなどして予防していきたいと思いました。
- * がんを予防するための行動（検診・生活習慣等）をしていくことが大切だと思いました。また、周りの人が病気になった場合、寄り添い、理解することができるように知識を深めていきたいと思っております。
- * 女子だけでなく男子も絶対に知るべき大変有意義な講演でした。貴重なお話を聞くことができました。